



3 本時案①【導入場面】（1時間目／11時間中）

(1) 本時のねらい

- ・水遊びの心得を守ることができるようにする。

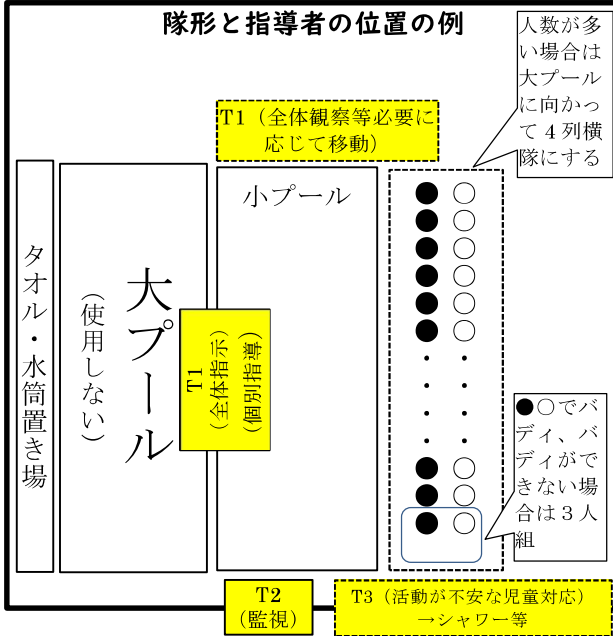
(2) 本時の学習評価

- ・水遊びの心得を守っている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 15分	<p>1. 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2. 単元の内容とめあての確認 ○水遊びの心得、単元のめあて、学習の進め方を知る。 ・並ぶ場所、並び方、タオルの置き場、水遊びの心得、バディについて説明する。児童が理解しやすいように掲示物を用いて説明する。 ・単元の内容や学習の進め方について説明する。</p> <p>3. 本時のめあてと評価項目の確認 めあて 水遊びの心得を守って、みんなで楽しく水遊びをしよう 評価 水遊びの心得を守っている。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>4. 準備運動 ・腕や脚などの伸ばす部位を意識してストレッチをさせる。 ・順にシャワーを浴び、指定した隊形でプールサイドに並ばせる。</p>	
なか 25分	<p>5 活動 水慣れの運動 ○いろいろな水慣れの運動の行い方を知り、取り組む。 ①プールサイドに腰掛け、全身に水かけを行う。 ②後ろ向きでゆっくり入水する。 ③ホイッスルの合図に合わせて「ジャンプ、ジャンプ、しゃがむ」を3回程度行い、次の列と交代する。 ④①②の後、真っ直ぐ走って、柵にタッチしたら走って戻る。交代。 ⑤②で全員の入水を確認したら、壁に沿って並んで歩く→走る→流される。 (タッチする人【見学者、指導者】を四隅に配置するとよい) (同じ流れで反対回りを行う、2～3回繰り返してもよい) ※全員プールサイドに上がり、バディ確認 ⑥「お地藏様ごっこ」を行う。 (バディでじゃんけんを行い、勝った人がお地藏様になり、頭から水をかけてもらう。4～5回行う) ⑦「じゃんけん列車」を行う。 (バディでじゃんけんを行い、負けた人は勝った人の後ろに回る) (5回行い、先頭の児童を称賛する。その後、もう一度最初から行う) ※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p>	<p>おおむね満足(観察) 水泳の心得を守っている。 十分満足 心得を守っているとともに、まわりの友達に声をかけている。 努力を要する児童への手立て 掲示物等を用いて再度心得を説明したり、復唱させたりする。</p>
	<p>6. 本時の振り返り ○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。 ・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。</p> <p>・準備運動(や整理運動)をしっかりとできたか ・丁寧にシャワーを浴びることができたか ・プールサイドを走らなかったか ・プールに飛び込まなかったか ・ホイッスルの合図を守ることができたか</p>	

<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 心得を守って安全に遊んでいる姿、取り組むよう周りの友達に声をかけている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>7. 整理運動、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>• 健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>• シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>	
----------------------	--	--



- 水遊びの心得の例**
1. 調子が悪いときはすぐに知らせる  
(パディや近くの友達、先生に)
  2. 準備運動や整理運動をしっかり行う
  3. 丁寧にシャワーを浴びる
  4. 安全に活動する
    - ◆ プールサイドなど走らない
    - ◆ プールに飛び込まない(後ろ向きで入る)
    - ◆ 友達とぶつからないように周りを見ながら活動する
  5. ホイッスルの合図を守る
    - 「ピッ！」スタート
    - 「ピピッ！」活動やめ、指導者を向く
    - ※ できていない場合「ピピピピ・・・！」で注意を促す。それでもできない場合は、プールから上げて指導する。
    - 「ピーピーピー」プールサイドに上がる

- 単元のめあてと11時間の内容の提示例**
- <単元のめあて>
- みんなで楽しく安全に水遊びをしよう
- ① 水遊びの心得を守って、みんなで楽しく水遊びをしよう
  - ②③ 決まりを守り、みんなで楽しく水遊びをしよう。
  - ④ 水の中を移動する運動遊びの行い方を知り、みんなで楽しく水遊びをしよう。
  - ⑤⑨ 自分に合った水遊びを選んで、みんなで楽しく水遊びをしよう。
  - ⑥⑩ 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝え、みんなで楽しく水遊びをしよう。
  - ⑦ 水の中を移動する運動遊びをマスターしよう。
  - ⑧ もぐる・浮く運動遊びの行い方を知り、みんなで楽しく水遊びをしよう。
  - ⑪ もぐる・浮く運動遊びをマスターし、みんなで楽しく水遊びをしよう。

- 1時間目の学習カードの例**
- ◆ よくできたら◎、まあまあできたら○、できなかったら△を書きましょう。
- ① 準備運動や整理運動をしっかりすることができましたか ( )
  - ② 丁寧にシャワーを浴びることができましたか ( )
  - ③ プールサイドを走らずに移動できましたか ( )
  - ④ プールに飛び込まないようにできましたか ( )
  - ⑤ ホイッスルの合図を守ることができましたか。 ( )
- ◆ 楽しかったことを書きましょう。  
( )
  - ◆ 困ったことを書きましょう。  
( )

3 本時案②【習得場面①】(2時間目/11時間中)※3時間目も同じ流れで行う

(1) 本時のねらい

- ・順番や決まりを守り、誰とでも仲よくしようことができる。

(2) 本時の学習評価

- ・順番や決まりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	<p>1. 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2. 本時のめあてと評価項目の確認</p> <p>めあて きまりを守り、みんなで楽しく水遊びをしよう</p> <p>評価 順番や決まりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○水遊びを行う上での決まりを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが水遊びを楽しくスムーズに行うための決まり(活動の順番、誰とでも仲よくすること、バディで行うこと、協力すること)について掲示物等を用いて説明する。</li> <li>・前時で扱った水遊びの心得についても掲示物等を用いて確認する。</li> </ul> <p>3. 準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕や脚などの伸ばす部位を意識してストレッチをさせる。</li> <li>・順にシャワーを浴び、指定した隊形でプールサイドに並ばせる。</li> </ul>	
なか 30分	<p>4 活動 水慣れの運動</p> <p>○いろいろな水慣れの運動の行い方を知り、取り組む。</p> <p>①プールサイドに腰掛け、全身に水かけを行う。</p> <p>②後ろ向きでゆっくり入水する。</p> <p>③ホイッスルの合図に合わせて「ジャンプ、ジャンプ、しゃがむ」を3回行い、次の列と交代する。</p> <p>④①②の後、真っ直ぐ走って、柵にタッチしたら走って戻る。交代。</p> <p>⑤②で全員の入水を確認したら、壁に沿って並んで歩く→走る→流される。 (タッチする人【見学者、指導者】を四隅に配置するとよい) (同じ流れで反対回りを行う、2~3回繰り返してもよい)</p> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p> <p>⑥「お地藏様ごっこ」を行う。 (バディでじゃんけんを行い、勝った人がお地藏様になり、頭から水をかけてもらう。4~5回行う)</p> <p>⑦「じゃんけん列車」を行う。 (バディでじゃんけんを行い、負けた人は勝った人の後ろに回る) (5回行い、先頭の児童を称賛する。その後、1、2度最初から行う)</p> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p>	<p><u>おおむね満足</u>(観察) 順番や決まりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。</p> <p><u>十分満足</u> 決まりを守るとともに、まわりの友達に声をかけている。</p> <p><u>努力を要する児童への手立て</u> 掲示物等を用いて再度水遊びの決まりやその意味を説明する。</p>
	<p>5. 本時の振り返り</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。</li> </ul> <p>・順番を守ることができたか</p> <p>・誰とでも仲よくすることができたか</p> <p>・バディと一緒に活動することができたか</p>	

ま と め  5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まりを守って楽しく遊んでいる姿、守るよう周りの友達に声をかけている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</li> <li>6. 整理運動、健康観察、挨拶</li> <li>・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>	
---------------------------	--	--

<h3>水遊びのきまりの例</h3> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>順番を守る</u></li> <li>2. <u>誰とでも仲よくする</u></li> <li>3. <u>準備や片付けは友達と一緒にやる</u></li> <li>4. <u>バディと協力する</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>★いつも相手の安全、体調を確認する</li> <li>★お互いに相手のことを大切にしながら、助けたり、アドバイスしたりする。</li> </ul> </li> </ol>
--

<h3>2(3)時間目の学習カードの例</h3> <p>◆よくできたら◎、まあまあできたら○、できなかつたら△を書きましょう。</p> <p>①順番を守ることができましたか ( )</p> <p>②誰とでも仲よくすることができましたか ( )</p> <p>③バディと一緒に活動することができましたか ( )</p> <p>◆楽しかったことを書きましょう。 ( )</p> <p>◆困ったことを書きましょう。 ( )</p>
--

3 本時案③【習得場面②】(4時間目/11時間中)

(1) 本時のねらい

- ・水の中を移動する運動遊びの行い方を知ることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・水の中を移動する運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。(知識・技能)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	<p>1. 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2. 本時のめあてと評価項目の確認</p> <p>めあて 水遊びの行い方を確かめ、みんなで楽しく水遊びをしよう。</p> <p>評価 水の中を移動する運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。(知識・技能)</p> <p>・水の中を移動する運動遊びの行い方について遊びながら知ることを中心に行うことを説明する。</p> <p>・これまで扱った水遊びの心得や決まりについて確認する。</p> <p>3. 準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕や脚などの伸ばす部位を意識してストレッチをさせる。</li> <li>・順にシャワーを浴び、指定した隊形でプールサイドに並ばせる。</li> </ul>	
なか 30分	<p>4 活動Ⅰ 水の中を移動する運動遊び</p> <p>○水の中を移動する運動遊びの行い方を知り、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな「動物歩き」の行い方について実際に動きを見せながら説明し、真似をさせる。「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順に扱い、列ごとに取り組ませる。</li> <li>・先ほど扱った動物を基に「進化じゃんけん」の行い方を説明し、バディで取り組ませる。今回は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順で進化するように説明する。可能な児童は、水中でじゃんけんさせる。</li> </ul> <p>5 活動Ⅱ もぐる・浮く運動遊び</p> <p>○もぐる運動遊びの行い方を知り、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホイッスル(ピッピッピーー)に合わせてボビングをさせる。水中では鼻から息を吐き、水面に出たら口で「パッ」と無声音を出させる(息を吸う)。列ごとに行い、5～6回連続で取り組ませる。</li> <li>・慣れてきたら、バディと手をつないで行ったり、自分たちのリズムで行ったりさせる。</li> <li>・宝探し(石拾い)ゲームの行い方を説明し、チーム対抗で取り組ませる。可能な限り、水面に顔を付けて宝をとるようにさせる。(たくさん取れたチームや積極的にもぐって取っている児童を称賛し、もう1、2度行う)</li> </ul> <p>○浮く運動遊びの行い方を知り、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「くらげ浮き」「だるま浮き」「大の字浮き」「伏し浮き」の行い方について実際に動きを見せながら説明し、取り組ませる。特に「体の力を抜くこと」に気を付けながら取り組ませる。列ごとに行う。カウントし、長く浮いている児童、姿勢がよい児童を称賛する。</li> </ul> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p>	<p><u>おおむね満足</u></p> <p>(観察・学習カード)</p> <p>水の中を移動する運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。</p> <p><u>十分満足</u></p> <p>行い方について詳しく言ったり書いたりしている。</p> <p><u>努力を要する児童への手立て</u></p> <p>掲示物等で運動遊びの行い方を再度説明したり、わかった運動遊びは何かを順に尋ねたりする。</p>
	<p>6. 本時の振り返り</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。</li> </ul>	

ま と め  5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物歩き」の行いがわかったか</li> <li>・「進化じゃんけん」の行いがわかったか</li> <li>・「宝探し（石拾い）」の行いがわかったか</li> <li>・「浮く運動遊び」の行いがわかったか</li> </ul> <p>・運動遊びの行いを友達に言いながら行っている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</p> <p>7. 整理運動、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>
---------------------------	---

**動物歩きの行い方、ポイント**

①ぞう歩き…片手を鼻に当て、もう片方の手を大きく振りながら水をはじき友達に水をかける。  
腕を振る時に、周りの友達に接触しないように気を付ける。

②あひる歩き…かがんで歩く。水の抵抗があるのでゆっくり歩く。

③カニ歩き…口から少しずつ息を吐きながら横向きに歩く。

④ワニ歩き…できるだけ水平な姿勢で、手だけで移動する。

**浮く運動遊びの行い方、ポイント**

①くらげ浮き…体の力をぬく。たくさん息を吸う。

②だるま浮き…ひざを抱えて、あごを胸に付ける。

③大の字浮き…大の字に手足を伸ばし、あごを胸につける。

④伏し浮き…まっすぐに手足を伸ばし、あごを胸につける。

**4時間目の学習カードの例**

◆行い方がよくわかったら◎、まあまあわかったら○、あまりわからなかったら△を書きましょう。

①あひる歩き（ ） ②かに歩き（ ）  
③ワニ歩き（ ） ④ぞう歩き（ ）  
⑤進化じゃんけん（ ）  
⑥ポビング（ ）  
⑦宝探し（石拾い）ゲーム（ ）  
⑧くらげ浮き（ ） ⑨だるま浮き（ ）  
⑩大の字浮き（ ） ⑪伏し浮き（ ）

◆行い方でわかったことを詳しく書きましょう。  
( )

◆楽しかったことを書きましょう。  
( )

◆困ったことを書きましょう。  
( )

**宝探し（石拾い）ゲームの行い方の例**

○24名の場合、6名×4チームとし、宝（石）は24～30個程度（人数より多め）にする。

○プールの4隅にチームのバケツを用意する。

○足で取ってもよい。

○宝を取った児童は、自分のチームのバケツに入れるまで次の宝をとることができない。

○全ての宝が水中からなくなったらゲームを終了し、自分たちの宝を数えさせる。（数＝得点）

※児童が計算できるようであれば、宝によって得点に差異をつけてもよい。

（例）わかっか・・・1点、立っている棒・・・2点、平べったい石・・・3点  
もぐらしないと取ることができないものは得点を高めにする。慣れてきたら平べったい石の数を多めにする。

3 本時案④【習得場面③】(5時間目/11時間中)

(1) 本時のねらい

- ・簡単な遊び方(主として水の中を移動する運動遊び)を選ぶことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・簡単な遊び方(主として水の中を移動する運動遊び)を選んでいる。(思考・判断・表現)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ	<p>1. 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2. 本時のめあてと評価項目の確認</p> <p>めあて 自分に合った水遊びを選んで、みんなで楽しく水遊びをしよう。</p> <p>評価 簡単な遊び方(主として水の中を移動する運動遊び)を選んでいる。 (思考・判断・表現)</p>	
10分	<p>・水の中を移動する運動遊びについて、自分に合った遊び方を選んだり、工夫したりしながら遊ぶことを説明する。</p> <p>・これまで扱った水遊びの心得や決まりについて確認する。</p> <p>3. 準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕や脚などの伸ばす部位を意識してストレッチをさせる。</li> </ul>	
なか30分	<p>4 活動Ⅰ 水の中を移動する運動遊び</p> <p>○水の中を移動する運動遊びについて、自分に合った遊び方を選んだり、工夫したりしながら取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に扱ったいろいろな「動物歩き」の行い方を確かめながら、取り組ませる。「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順で列ごとに行わせる。</li> <li>・「自分が好きな動物歩き」を選んで取り組ませる。その際、自分で新たに動物歩きを考えて取り組んでもよいことを知らせる。選んだり、考えたりしたらバディに動物を知らせてから運動遊びを始める。</li> <li>・前時に扱った「進化じゃんけん」の行い方を確かめ、バディで取り組ませる。</li> <li>・前時に扱った「動物歩き」を基に進化の例をいくつか提示し、その中から選んで取り組ませる。また、新たに考えた動物歩きを入れて取り組んでもよいことを知らせる。可能な児童は、水中でじゃんけんさせる。</li> </ul> <p>5 活動Ⅱ もぐる・浮く運動遊び</p> <p>○もぐる運動遊びの行い方を確かめ、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホイッスル(ピッピッピーー)に合わせてポピングをさせる。水中では鼻から息を吐き、水面に出たら口で「パッ」と無音を出させる(息を吸う)。列ごとに行い、5~6回連続で取り組ませる。</li> <li>・慣れてきたら、バディと手をつないで行ったり、連続で行ったりさせる。(連続の時はホイッスルはなし)</li> <li>・宝探し(石拾い)ゲームの行い方を確かめ、チーム対抗で取り組ませる。慣れてきたら「動物歩きをしながら」という条件で取り組ませてもよい。楽しくなりきって取り組んでいる児童を称賛したり、評価したりする。</li> </ul> <p>○浮く運動遊びの行い方を確かめ、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「くらげ浮き」「だるま浮き」「大の字浮き」「伏し浮き」の行い方を確かめながら、取り組ませる。「体の力を抜くこと」とともに「水中に入る前に息を大きく吸って止めてから行うこと」に気を付けながら取り組ませる。カウントし、長く浮いている児童、姿勢がよい児童を称賛する。</li> </ul> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p>	<p><b>おおむね満足</b> (観察・学習カード)</p> <p>簡単な遊び方(主として水の中を移動する運動遊び)を選んでいる。</p> <p><b>十分満足</b> 遊び方を選ぶと共に、遊び方を工夫している。</p> <p><b>努力を要する児童への手立て</b> 掲示物等で遊び方を再度提示したり、自分がやってみたい遊び方はどれかを順に尋ねたりする。</p>



ま と め  5  分	<p>5. 本時の振り返り</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をパディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に合った「動物歩き」を選んで遊ぶことができたか</li> <li>・新しい「動物歩き」を考え、遊ぶことができたか</li> <li>・自分たちに合った「進化じゃんけん」を選んで遊ぶことができたか</li> <li>・新しい動物歩きを入れる等「進化じゃんけん」を工夫して遊ぶことができたか</li> </ul> </div> <p>・自分に合った遊び方を選んで楽しそうに遊んでいる児童、遊び方をいくつも工夫して遊んでいる児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</p> <p>6. 整理運動、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>	
-------------------------------	--	--

### 新しい動物歩きの例

- ①カエル（うさぎ、カンガルー）  
…プールの底を両足で蹴ってジャンプして進む。（ボビングにつながる運動遊び）
- ②イルカ（魚）  
…両手をそろえて、底をジャンプして入水し、水中を進む。
- ③フラミンゴ  
…片足で立つポーズを取りながら進む。
- ④たこ  
…頭だけを水上に出し、手足をくねくねしながら進む。 等

### 進化じゃんけんの提示例

- ①ゾウ→あひる→カニ→ワニ（顔付け）  
※少しずつもぐる運動遊びに近づける感じ
- ②ゾウ→あひる→（ ）→（ ）  
※顔付けが苦手な児童に配慮した感じ  
※（ ）内は自分たちで考えた動物歩き
- ③カニ→ワニ（顔付け）→（ ）→（ ）  
※顔付けが得意な児童に対して

### 5時間目の学習カードの例

◆よくできたら◎、まあまあできたら○、あまりできなかったら△を書きましょう。

- ①好きな動物を選んで取り組むことができた（ ）
- ②新しい「動物歩き」を考えることができた（ ）  
→どんな動物歩き（ ）
- ③自分たちに合った「進化じゃんけん」を選ぶことができた（ ）
- ④自分たちで「進化じゃんけん」を工夫して取り組むことができた（ ）  
→どんな工夫（ ）

◆楽しかったことを書きましょう。  
（ ）

◆困ったことを書きましょう。  
（ ）

3 本時案⑤【活用場面①】(6時間目/11時間中)

(1) 本時のねらい

- ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。

(思考・判断・表現)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	<p>1. 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2. 本時のめあてと評価項目の確認</p> <p>めあて 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えながらみんなで楽しく水遊びをしよう。</p> <p>評価 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 (思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バディやチームの友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えながら活動することを説明する。</li> <li>・これまで扱った水遊びの心得や決まりについて確認する。</li> </ul> <p>3. 準備運動、シャワー、整列</p>	
なか 30分	<p>4. 活動Ⅰ 水の中を移動する運動遊び</p> <p>○水の中を移動する運動遊びについて、友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝えながら取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物歩き」は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」「自分が好きな動物歩き」の順で取り組ませる。バディを前半と後半に分け、「見る側」と「行う側」を交代で取り組めるようにする。事前に互いに見合っ、よい動きを見付けて伝えたり、もっとこうしたらよいと思うことをアドバイスしたりすることを伝え、そのことを意識してから取り組ませる。</li> <li>・「進化じゃんけん」は「自分たちに合った遊び方」になるようバディで話し合ってから取り組ませる。可能な児童は、水中でじゃんけんさせる。</li> </ul> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p> <p>5. 活動Ⅱ もぐる・浮く運動遊び</p> <p>○もぐる運動遊びを行いながら、よい動き等を見付け、互いに伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バディで交代しながらボビングをさせる。「水中では鼻から息を吐いていること」「水面に出たら口で『パッ』と言ったらいいよ」等、見付けたよい動きやアドバイスを互いに伝えさせる。</li> <li>・バディと手をつないで行うときに、どのような点に気を付けて取り組めばよいかを話し合ってから取り組ませる。</li> <li>・宝探し(石拾い)ゲームでは、事前に「作戦タイム」、事後に「作戦チェック(振り返り)」を設け、見付けたよい動き等について互いに伝えられるようにする。</li> <li>・積極的に伝えている児童、詳しく伝えようとしている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>○浮く運動遊びを行いながら、よい動き等を見付け、互いに伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの運動遊びをしながら「体の力を抜くこと」とともに「息を大きく吸って止めること」「姿勢がよく長く浮いていること」等、バディで互い伝えさせる。</li> </ul> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p>	<p><u>おおむね満足</u> (観察・学習カード)</p> <p>友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。</p> <p><u>十分満足</u> よい動き等を工夫して詳しく伝えている。</p> <p><u>努力を要する児童への手立て</u> よい動きのポイントを再度確認し、それができていたかどうかを答えさせる。</p>

ま と め  5 分	<p>6. 本時の振り返り</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻った時に、学習カードに記録させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物歩き」でバディのよい動きを伝えたり、アドバイスをしたりできたか</li> <li>・自分たちに合った「進化じゃんけん」になるように考え、伝えることができたか</li> <li>・「もぐる・浮く運動遊び」でバディのよい動きを伝えたり、アドバイスをしたりできたか</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よい動き等を工夫して詳しく伝えていく児童、チームでの話し合いの時に意欲的に伝えていく児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>7. 整理運動、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>	
---------------------------	---	--

### 6時間目の学習カードの例

◆よくできたら◎、まあまあできたら○、あまりできなかったら△を書きましょう。

★バディの名前（                      ）さん

①「動物歩き」でバディのよい動きを見つけて伝えたり、アドバイスをしたりすることができた（     ）

【詳しく書こう】

- ・よいと思った動きは（                                      ）
- ・アドバイスしたことは（                                      ）

②自分たちに合った「進化じゃんけん」になるように話し合いができた（     ）

【詳しく書こう】

- ・伝えたことは（                                      ）

③「もぐる・運動遊び」でバディのよい動きを見つけて伝えたり、アドバイスをしたりすることができた（     ）

【詳しく書こう】

- ・よいと思った動きは（                                      ）
- ・アドバイスしたことは（                                      ）

◆楽しかったことを書きましょう。

（                                      ）

◆困ったことを書きましょう。

（                                      ）

3 本時案⑥【活用場面②】（7時間目／11時間中）

(1) 本時のねらい

- ・水の中をいろいろな姿勢で歩いたり、自由に方向や速さを変えて走ったりして遊ぶことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・水の中をいろいろな姿勢で歩いたり、自由に方向や速さを変えて走ったりして遊ぶことができる。（知識・技能）

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	<p>1. 集合、挨拶、健康観察</p> <p>2. 本時のめあてと評価項目の確認</p> <p>めあて 水の中を移動する運動遊びをマスターして、みんなで楽しく水遊びをしよう</p> <p>評価 水の中をいろいろな姿勢で歩いたり、自由に方向や速さを変えて走ったりして遊ぶことができる。（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで取り組んで来た水遊び（水の中を移動する運動遊び）がどれくらいできるようになったかを確かめながら活動することを説明する。</li> <li>・これまで扱った水遊びの心得や決まりについて確認する。</li> </ul> <p>3. 準備運動、シャワー、整列</p>	
なか 30分	<p>4. 活動Ⅰ 水の中を移動する運動遊び</p> <p>○水の中を移動する運動遊びがどのくらいできるようになっているかをバディで確かめながら取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物歩き」は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順で取り組ませる。バディを前半と後半に分け、「見る側」と「行う側」を交代で取り組むことができるようにする。互いに見合い、できているときは「○」、できていないときは「こうしたらよいと思うこと」を伝え合わせる。</li> <li>・「進化じゃんけん」は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順で取り組ませる。次に「自分たちに合った遊び方」になるようバディで話し合ってから取り組ませる。可能な児童は、水中でじゃんけんさせる。</li> <li>・「動物歩き」や「進化じゃんけん」を安定した動きを繰り返しできている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p> <p>5. 活動Ⅱ もぐる・浮く運動遊び</p> <p>○もぐる運動遊びを行いながら、よい動き等を見付け、互いに伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バディで交代しながらポビングをさせる。「水中では鼻から息を吐いていること」「水面に出たら口で『パッ』と言ったらいいよ」等、見付けたよい動きやアドバイスを互いに伝えさせる。</li> <li>・バディと手をつないで行うときに、どのような点に気を付けて取り組めばよいかを話し合ってから取り組ませる。</li> <li>・宝探し（石拾い）ゲームでは、事前に「作戦タイム」、事後に「作戦チェック（振り返り）」を設け、見付けたよい動き等について互いに伝えられるようにする。</li> </ul> <p>○浮く運動遊びを行いながら、よい動き等を見付け、互いに伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの運動遊びをしながら「体の力を抜くこと」とともに「息を大きく吸って止めること」「姿勢がよく長く浮いていること」等、バディで互い伝えさせる。</li> <li>・積極的に伝えている児童、詳しく伝えようとしている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>※全員プールサイドに上がり、バディ確認</p>	<p><b>おおむね満足</b> （観察・学習カード）</p> <p>水の中をいろいろな姿勢で歩いたり、自由に方向や速さを変えて走ったりして遊ぶことができる。</p> <p><b>十分満足</b> 安定して何度も繰り返し遊ぶことができる。</p> <p><b>努力を要する児童への手立て</b> よい動きのポイントを再度確認し、ゆっくり取り組ませる。</p>

ま と め 5 分	<p>6. 本時の振り返り</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな「動物歩き」をマスターできたか</li> <li>・最初の「進化じゃんけん」をマスターできたか</li> <li>・自分たちに合った「進化じゃんけん」をマスターできたか</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物歩き」や「進化じゃんけん」を安定した動きを繰り返してきている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>7. 整理運動、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>	
-----------------------	--	--

**7時間目の学習カードの例**

◆よくマスターできたと思うものは◎、まあまあマスターできたと思うものは○、あまりマスターできなかったと思うものは△を書きましょう。

①「動物歩き」

- ・あひる歩き ( )
- ・かに歩き ( )
- ・ワニ歩き ( )
- ・ぞう歩き ( )

②「進化じゃんけん」

- ・あひる→かに→ワニ→ぞうの順 ( )
- ・自分たちで話し合った進化じゃんけん ( )

【詳しく書こう】どんな順番  
( ) → ( ) → ( ) → ( )

◆楽しかったことを書きましょう。  
( )

◆困ったことを書きましょう。  
( )

3 本時案⑦【活用場面③】(8時間目/11時間中)

(1) 本時のねらい

- ・もぐる・浮く運動遊びの行い方を知ることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・もぐる・浮く運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。(知識・技能)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	1. 集合、挨拶、健康観察 2. 本時のめあてと評価項目の確認 めあて 水遊びの行い方を確かめ、みんなで楽しく水遊びをしよう。 評価 もぐる・浮く運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。 (知識・技能) ・もぐる・浮く運動遊びの行い方について遊びながら知ることを中心に行うことを説明する。 ・これまで扱った水遊びの心得や決まりについて確認する。 3. 準備運動、シャワー、整列	
なか 30分	4. 活動Ⅰ 水の中を移動する運動遊び ○いろいろな友達とペアを組み、水の中を移動する運動遊びに取り組む。 ・ペアを変えて「動物歩き」は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順で取り組ませる。互いに見合い、できているときは「○」、できていないときは「こうしたらよいと思うこと」を伝え合う。 ・ペアを変えて「進化じゃんけん」に取り組ませる。最初は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順でさせる。次に「自分たちに合った遊び方」になるようペア話し合ってから取り組ませる。同じ流れで何度かペアを変えながら取り組ませる。可能な児童は、水中でじゃんけんさせる。 ※全員プールサイドに上がり、バディ確認 5. 活動Ⅱ もぐる・浮く運動遊び ○もぐる運動遊びの行い方を確かめながらいろいろな友達とペアをつくらせて取り組む。 ・ペアを変えてポピングをし、見付けたよい動きやアドバイスを互いに伝えさせる。 ・ペアと手をつないで行うときに、どのような点に気を付けて取り組めばよいかを話し合ってから取り組ませる。 ・新しいチームで、宝探し(石拾い)ゲームを行い、見付けたよい動き等について互いに伝えられるようにする。 ○浮く運動遊びの行い方を確かめながらいろいろな友達とペアをつくらせて取り組む。 ・「くらげ浮き」「だるま浮き」「大の字浮き」「伏し浮き」の行い方について再度説明し、「体の力を抜くこと」とともに「息を大きく吸って止めること」「姿勢がよく長く浮いていること」等、ペアで互い伝えさせる。 ・もぐる・浮く運動遊びの行い方を積極的に言ったり実際に動いたりしている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。 ※全員プールサイドに上がり、バディ確認	<u>おおむね満足</u> (観察・学習カード) もぐる・浮く運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。 <u>十分満足</u> 行い方について詳しく言ったり書いたりしている。 <u>努力を要する児童への手立て</u> 掲示物等で運動遊びの行い方を再度説明したり、わかった運動遊びは何かを順に尋ねたりする。

ま と め 5 分	<p>6. 本時の振り返り</p> <p>○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ポビンググ」の行い方がわかったか</li> <li>・「宝さがし（石拾い）ゲーム」の行い方がわかったか</li> <li>・「浮く運動遊び」の行い方がわかったか</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もぐる・浮く運動遊び」の行い方を友達に言いながら行っている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>7. 整理運動、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>	
-----------------------	---	--

**8時間目の学習カードの例**

◆行い方がよくわかったら◎、まあまあわかったら○、あまりわからなかったら△を書きましょう。

①ポビング（ ）

②宝探し（石拾い）ゲーム（ ）

③くらげ浮き（ ）

④だるま浮き（ ）

⑤大の字浮き（ ）

⑥伏し浮き（ ）

◆行い方でわかったことを詳しく書きましょう。  
（ ）

◆楽しかったことを書きましょう。  
（ ）

◆困ったことを書きましょう。  
（ ）

3 本時案⑧【活用場面④】(9時間目/11時間中)

(1) 本時のねらい

- ・簡単な遊び方(主としてもぐる・浮く運動遊び)を選ぶことができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・簡単な遊び方(主としてもぐる・浮く運動遊び)を選んでいる。(知識・技能)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	1. 集合、挨拶、健康観察 2. 本時のめあてと評価項目の確認 めあて 自分に合った水遊びを選んで、みんなで楽しく水遊びをしよう。	
	評価 簡単な遊び方(主としてもぐる・浮く運動遊び)を選んでいる。(知識・技能)	
なか 30分	<p>・もぐる・浮く運動遊びについて、自分に合った遊び方を選んだり、工夫したりしながら遊ぶことを説明する。</p> <p>・これまで扱った水遊びの心得や決まりについて確認する。</p> <p>3. 準備運動、シャワー、整列</p> <p>4. 活動Ⅰ 水の中を移動する運動遊び ○いろいろな友達とペアを組み、水の中を移動する運動遊びに取り組む。 ・ペアを変えて「動物歩き」は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順で取り組ませる。互いに見合い、できているときは「○」、できていないときは「こうしたらよいと思うこと」を伝え合う。 ・ペアを変えて「進化じゃんけん」に取り組ませる。最初は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順でさせる。次に「自分たちに合った遊び方」になるようペア話し合ってから取り組ませる。同じ流れで何度かペアを変えながら取り組ませる。可能な児童は、水中でじゃんけんさせる。</p> <p>※全員プールサイドに上がり、パディ確認</p> <p>5. 活動Ⅱ もぐる・浮く運動遊び ○もぐる運動遊びの中で自分に合った遊び方を選んだり、工夫したりしながら取り組む。 ・いろいろなペアとポピングをする。ペアで「手をつなぐ」「連続で行う」等の行い方を選んだり、工夫したりして取り組ませる。1分程度で交代し、2～3回繰り返す。 ・ポピング、宝探し(石拾い)ゲームで、よかったこと、気がついたことはペアやチーム内で伝え合わせる。 ○浮く運動遊びの中で自分に合った遊び方を選んだり、工夫したりしながら取り組む。 ・いろいろなペアと浮く運動遊びをする。「くらげ浮き」「だるま浮き」等の行い方を選んだり、工夫したりして取り組ませる。1分程度で交代し、2～3回繰り返す。 ・浮く運動遊びで、よかったこと、気がついたことはペアで伝え合わせる。 ・もぐる・浮く運動遊びを選んで楽しそうに行っている児童や工夫して行っている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。</p> <p>※全員プールサイドに上がり、パディ確認</p> <p>6. 本時の振り返り ○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。 ・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をパディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。</p>	<p><u>おおむね満足</u> (観察・学習カード) 簡単な遊び方(主としてもぐる・浮く運動遊び)を選んでいる。</p> <p><u>十分満足</u> 遊び方を選ぶと共に、遊び方を工夫している。</p> <p><u>努力を要する児童への手立て</u> 掲示物等で遊び方を再度提示したり、自分がやってみたい行い方はどれかを順に尋ねたりする。</p>



ま と め  5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちに合った「ボビング」の行い方を選んで遊ぶことができたか</li> <li>・「ボビング」の行い方を工夫して遊ぶことができたか</li> <li>・自分たちに合った「浮く運動遊び」の行い方を選んで遊ぶことができたか</li> <li>・「浮く運動遊び」の行い方を工夫して遊ぶことができたか</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もぐる・浮く運動遊びを選んで楽しそうに行っている児童や工夫して行っている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。</li> </ul> <p>7. 整理運動、健康観察、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。</li> <li>・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。</li> <li>・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。</li> </ul>	

**9時間目の学習カードの例**

◆よくできたら◎、まあまあできたら○、あまりできなかったら△を書きましょう。

①自分たちに合った「ボビング」の行い方を選んで取り組むことができた ( )

②「ボビング」の行い方を工夫して取り組むことができた ( )  
→どんな工夫 ( \_\_\_\_\_ )

③自分たちに合った「浮く運動遊び」の行い方を選んで取り組むことができた ( )

④「浮く運動遊び」の行い方を工夫して取り組むことができた ( )  
→どんな工夫 ( \_\_\_\_\_ )

◆楽しかったことを書きましょう。  
( \_\_\_\_\_ )

◆困ったことを書きましょう。  
( \_\_\_\_\_ )

3 本時案⑨【活用場面⑤】(10時間目/11時間中)

(1) 本時のねらい

- ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。(思考・判断・表現)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
は じ め  1 0 分	1. 集合、挨拶、健康観察 2. 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えながら みんなで楽しく水遊びをしよう。  評 価 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 (思考・判断・表現)  ・ペアやチームの友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えながら活動することを説明する。 ・これまで扱った水遊びの心得や決まりについて確認する。	
な か  3 0 分	3. 準備運動、シャワー、整列  4. 活動Ⅰ 水の中を移動する運動遊び ○いろいろな友達とペアを組み、水の中を移動する運動遊びに取り組む。 ・ペアを変えて「動物歩き」は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順で取り組ませる。互いに見合い、できているときは「○」、できていないときは「こうしたらよいと思うこと」を伝え合う。 ・ペアを変えて「進化じゃんけん」に取り組ませる。最初は「あひる」「かに」「わに」「ぞう」の順でさせる。次に「自分たちに合った遊び方」になるようペア話し合ってから取り組ませる。同じ流れで何度かペアを変えながら取り組ませる。可能な限り、水中でじゃんけんさせる。 ・進化じゃんけんできよかったこと、気がついたことはペアで伝え合わせる。 ※全員プールサイドに上がり、バディ確認 5. 活動Ⅱ もぐる・浮く運動遊び ○もぐる運動遊びを行いながら、よい動き等を見付け、互いに伝える。 ・いろいろなペアとポビングをさせる。「水中では鼻から息を吐いていること」「水面に出たら口で『パッ』と言ったらいいよ」等、見付けたよい動きやアドバイスを互いに伝えさせる。 ・ポビング、宝探し(石拾い)ゲームで、よかったこと、気がついたことはペアやチーム内で伝え合わせる。 ○浮く運動遊びを行いながら、よい動き等を見付け、互いに伝える。 ・いろいろなペアと浮く運動遊びをさせる。2～3回ペアを変えて取り組ませる。 ・浮く運動遊びで、よかったこと、気がついたことをペアで伝え合わせる。 ・積極的に伝えている児童、詳しく伝えようとしている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。 ※全員プールサイドに上がり、バディ確認 6. 本時の振り返り ○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。 ・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。	<u>おおむね満足</u> (観察・学習カード) 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 <u>十分満足</u> よい動き等を工夫して詳しく伝えている。 <u>努力を要する児童への手立て</u> よい動きのポイントを再度確認し、それができていたかどうかを答えさせる。



3 本時案⑩【まとめ場面】(11時間目/11時間中)

(1) 本時のねらい

- ・息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな姿勢で水にもぐったり浮いたりして遊ぶことができるようにする。
- ・水遊びに進んで取り組んで取り組もうとすることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな姿勢で水にもぐったり浮いたりして遊ぶことができる。(知識・技能)
- ・水遊びに進んで取り組んで取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 10分	1. 集合、挨拶、健康観察 2. 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて もぐる・浮く運動遊びをマスターして、みんなで楽しく水遊びをしよう 評価 ・息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな姿勢で水にもぐったり浮いたりして遊ぶことができる。(知識・技能) ・水遊びに進んで取り組んで取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	
なか 30分	3. 準備運動、シャワー、整列 4. 活動Ⅰ これまでに学習した運動遊びを確かめる活動 ○いろいろな友達とペアを組み、もぐる・浮く運動遊びに取り組む。 ・いろいろなペアとポビングをさせる。2 回行い、見付けたよい動きやアドバイスを互いに伝えさせる。 ・いろいろなペアと浮く運動遊びをさせる。2 回行い、見付けたよい動きやアドバイスを互いに伝えさせる。(事前に2つ選ばせておく) ・「ポビング」「浮く運動遊び」を安定した動きを繰り返しできている児童を称賛し、望ましい姿を全体に広げる。	<u>おおむね満足</u> (観察・学習カード) 息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな姿勢で水にもぐったり浮いたりして遊ぶことができる。
	5. 活動Ⅱ 水遊び大会 ○これまで学習したことを振り返り、みんなで楽しくできることを考えながら取り組む。 ・みんなが楽しく取り組むことができる運動遊びを話し合わせる。(事前に「水遊び大会アンケート」を行い、取り入れた方がよい運動遊びをリストアップして、提示してもよい) (例：子供の希望が多いものを扱う、易しい遊びから並べる) ①じゃんけん列車 (最初のペア【バディ】から始め、2～3回行う) ②いろいろなペアと進化じゃんけん (進化の仕方はそのペアで話し合っ決めて) ③4人組でポビング (最後の進化じゃんけんのペアを合体させ4人組で行う) ④バディで水中タクシー (最初のペア【バディ】で2～3回行う) ⑤宝探し(石拾い)ゲーム (「10点」の石を設定する等ルールを工夫して2回行う)	<u>十分満足</u> 安定して何度も繰り返し遊ぶことができる。 <u>努力を要する児童への手立て</u> よい動きのポイントを再度確認し、ゆっくり取り組ませる。
		<u>おおむね満足</u> (観察・学習カード) 水遊びに進んで取り組もうとしている。

ま と め 5 分	※全員プールサイドに上がり、バディ確認 6. 本時と単元の振り返り ○本時や単元のめあてに沿って振り返り、次の単元への意欲を高める。 ・次のことについてその場で一斉に振り返らせたり、感想をバディと共有させたりする。教室に戻り、着替えた後に学習カードに記録させる。 ・進んで楽しそうに取り組んでいる児童等を紹介し、望ましい姿を次の単元へつなげる。	十分満足 みんなが楽しく取り組むことができるように工夫しようとしている。 努力を要する児童への手立て
	・「ポビング」をマスターできたか ・「浮く運動遊び」をマスターできたか ・進んでいろいろな水遊びに取り組むことができたか ・水遊びの中で楽しかったこと、心に残っていること等は何か	安心して取り組むことができるように指導者が補助したり、できそうなことを選ばせたりする。
	7. 整理運動、健康観察、挨拶 ・整理運動は、腕や脚などよく使った部位を中心に、実際に指導者が動きながら示し、真似させる。 ・健康観察を行い、けが、体調不良などを確認する。 ・シャワーを浴びて濡れた体を拭き取ったことを確認し、着替えさせる。 ※単元終了後、「水遊びマスターカード」を渡し、次の運動遊びへの意欲を高めることも考えられる。	

**！！時間目の学習カードの例**

◆よくマスターできたと思うものは◎、まあまあマスターできたと思うものは○、あまりマスターできなかったと思うものは△を書きましょう。

①「ポビング」( )

②「浮く運動遊び」( )  
 【詳しく書こう】マスターした運動遊び  
 ( )  
 ( )

◆よくできたら◎、まあまあできたら○、あまりできなかったら△を書きましょう。

「水遊び」に進んで取り組むことができた ( )

◆「水遊び」の感想を詳しく書こう

- ・楽しかったこと  
( )
- ・心に残ったこと  
( )

**水遊び大会アンケートの例**

◆みんなが楽しく取り組むことができる水遊び大会になるように取り入れた方がいいと思う運動遊びに○を書きましょう。  
 (いくつ書いてもよいです)

【これまで取り組んだ運動遊び】

- ( )「プールランニング」  
(せんたくき)
- ( )「お地藏様ごっこ」
- ( )「じゃんけん列車」
- ( )「動物あるき」
- ( )「進化じゃんけん」
- ( )「ポビング」
- ( )「宝探し(石拾い)ゲーム」
- ( )「浮く運動遊び」  
(うきうき遊び)
- ( )「水中タクシー」

※学習支援ソフト等のアンケート機能(アンケートツール)を活用すると把握しやすい。

**水遊びマスターカードの例**

◆あなたは、「水遊び」で次のことをマスターしましたので、これを認定します。これからも楽しくいろいろな運動遊びにチャレンジしてください。

- ( )「プールランニング」(せんたくき)
- ( )「お地藏様ごっこ」
- ( )「じゃんけん列車」
- ( )「動物あるき」
- ( )「進化じゃんけん」
- ( )「ポビング」
- ( )「宝探し(石拾い)ゲーム」
- ( )「浮く運動遊び」(うきうき遊び)
- ( )「水中タクシー」
- ( ) 誰とでも仲よく運動遊びができた
- ( ) 友達のよい動きを見付けて伝えることができた
- ( ) 自分に合った運動遊びを選ぶことができた

※学習支援ソフト等のアンケート機能(アンケートツール)を活用するとよい。  
 (自分で振り返らせて、賞状風に紙またはデータにして渡す等)